

「豊かな人と財政のまちづくり」プラン具体策進捗管理シート

重点項目		1. 行政評価の実施と活用						
実施項目	A.行政評価の実施							
	大淀町の将来をイメージした施策・事業について、有効性・妥当性・効率性・緊急性の観点から評価を実施し優先順位をつける。							
具体策	取り組み内容	実施時期					効果額 集計 (万円)	担当課
		効果額(万円)						
		H22	H23	H24	H25	H26		
内部評価の充実	政策、施策、事務事業の目的に沿った達成目標(指標)を設定						-	財務課
	評価結果の活用目的を定め評価項目を設定、充実した評価を行う							
22年度変更								
変更理由								
外部評価の検討	評価の客観的かつ厳格な実施の確保を図ることを目的とした導入検討を行う						-	財務課
22年度変更								
変更理由								
数 値 目 標 (H26 年 度 末)	評価の実施が目標であるため数値目標設定不可能							
重 視 す る 指 標	適正な評価の実施							
改 革 の ポ イ ン ト (効 果)	評価結果により大淀町の強み弱みを明らかにし、「選択と集中」の町行政が実施可能なシステム設計を行う。							

平成 22 年度	取り組み内容(PPLAN)			
	政策、施策、事務事業の目的に沿った達成目標(指標)を設定			
	評価の客観的かつ厳格な実施の確保を図ることを目的とした導入検討を行う			
	実施状況・効果・評価(DO・CHECK)			
	実施状況	<p>総合計画の基本方針・事業に沿って6政策・42施策・116事務事業の体系整理を行い、評価シートの作成を行った。政策評価については単年度実績での評価をせず、複数年度実施結果にて評価する方針とした。施策評価については総合計画事業の単位で評価する方針とし、総合計画進捗管理シートの内容を活用し、取り組み目標と進捗状況により評価できるシート構成とした。事務事業評価については事業の目的と指標を設定し、総合計画実施項目を達成するために進捗している業務を活動実績として記載し担当者評価(一次評価)所属長評価(二次評価)ができる構成とした。23年度には各課への記載依頼を行うスケジュールで準備を行った。</p>		
		今年度は実施時期未到達		
	効果	総合計画と施策・事務事業を関連付けて整理したことにより、総合計画進捗管理シートを活用した施策評価が可能であるという方針ができたことは行政評価を進めるうえでの効果といえる。		
	効果額	**,***千円		
	算出根拠(式等)	-		
	課題と今後の対策	23年度より試行評価するにあたって、各シートの目的と指標を総合計画進捗管理シートをもとに財務課で記載したが、担当課に内容確認を行ったうえで評価を実施していく。評価結果の活用目的を明確に示しながら試行評価を行い、結果検証し、本格評価への準備を行っていく予定。		
内部評価(担当課)	スケジュールの進捗度	80	%	
	指標に対する達成度	90	%	
	総合評価(内部)ABCDE	B		当初の計画通りすすみ効果が出ている
外部評価(推進委員)	平成23年度からの行政評価(試行評価)にあたり、平成22年度においては総合計画の基本方針に沿った評価シートの作成を実施するなど、計画通り業務が進んでいると評価できる。今後、この評価シートに基づいた事業評価を、各担当課で精査して行うこと。			
内部評価・外部評価を受けた見直し・改善(ACTION)				
評価シートについては総合計画の基本方針に沿った構成となっており、評価 = 総合計画の進捗管理と連動していくよう、担当課と確認を行いながら、適正な評価をするための準備を行う。				

平成 23 年度	取り組み内容(PPLAN)			
	評価結果の活用目的を明確にして担当課へ評価シートを配布し、事務事業・施策の目標目的を確認のうえでシートを記載してもらう。			
	導入検討			

「豊かな人と財政のまちづくり」プラン具体策進捗管理シート

重点項目		1. 行政評価の実施と活用						
実施項目		B. 行政評価の活用 評価の結果優先順位の高い施策・事業について予算をつける。						
具体策	取り組み内容	実施時期					効果額 集計 (万円)	担当課
		効果額(万円)						
		H22	H23	H24	H25	H26		
総合計画と予算編成への連動	行政評価結果を総合計画に示される各項目の実施内容とともに事業、予算についても進行管理を行う 評価結果を予算編成に活用し、効果や実績についてまとめる						-	財務課
22年度変更								
変更理由								
人員配置との連動	優先順位の高い施策、事業に応じて適正な人員配置を行う						-	総務課
継続的な業務改善	評価結果を受けた重複や無駄の有無、簡素化の可能性について改善						-	総務課
22年度変更								
変更理由								
数値目標 (H26年度末)	5年間累計50件							
重視する指標	評価結果を政策施策に反映した事業数							
改革のポイント (効果)	新たな行政課題や地方分権の推進による事務量の増加に対応するため、組織・機構にとらわれることのない、ムダが少なく柔軟に対応できる効率的な組織運営をめざす。							

取り組み内容(PLAN)			
行政評価結果を総合計画に示される各項目の実施内容とともに事業、予算についても進行管理を行う 評価結果を予算編成に活用し、効果や実績についてまとめる			
優先順位の高い施策、事業に応じて適正な人員配置を行う			
評価結果を受けた重複や無駄の有無、簡素化の可能性について改善			
実施状況・効果・評価(DO・CHECK)			
実施状況	評価のためのシート作成を行った。総合計画の各項目と連動し、項目に対する複数年度の決算額・予算額の記載及び貢献度、総合評価、優先度のそれぞれの観点からの評価ができ、次年度予算に反映できるシート構成とした。また、人員配置にも連動させることを考え、事務事業シートについては、その事業を遂行するために必要な人員を記入できるようにした。 評価結果の予算編成への活用については、評価が23年度からとなるので実施事項なし。		
	評価実施に至っていないため、結果を受けた反映は行っていない。		
	継続的な組織ヒアリングを実施。		
効果	評価シート(試案)ができた段階であるので、効果は出ていない。		
効果額	**,***千円		
算出根拠(式等)			
課題と今後の対策	総合計画と行政評価の連動ができているので、各課の理解のもと評価実施し、結果を有効的に活用していく		
内部評価(担当課)	スケジュールの進捗度	90	%
	指標に対する達成度	90	%
	総合評価(内部)ABCDE	B	当初の計画通りすすみ効果が出ている
外部評価(推進委員)	評価のためのシートが作成されたことにより、今後における行政評価導入による効果や、施策・事業の優先度などが示されることを期待する。		
内部評価・外部評価を受けた見直し・改善(ACTION)			
事業にかかる総合計画との関連性、予算、人員をひとつのシートで見せることにより、問題点や効果を明らかにできると想定される。評価シートを事業の優先度を判断するための必須アイテムとして位置づけていく。			

取り組み内容(PLAN)			
担当課へ評価シートを記入依頼し、評価結果を予算編成の参考資料として活用する。			
継続的な組織ヒアリングの実施			

平成22年度

平成23年度

「豊かな人と財政のまちづくり」プラン具体策進捗管理シート

重点項目		1. 行政評価の実施と活用						
実施項目		C. 評価結果の公表 評価の透明性と説明責任の観点から評価結果公表の検討を行う。						
具体策	取り組み内容	実施時期					効果額 集計 (万円)	担当課
		効果額(万円)						
		H22	H23	H24	H25	H26		
方法の検討	公表範囲の検討 公表方法の選択					-	財務課	
22年度変更								
変更理由								
数 値 目 標 (H26 年 度 末)	平成25年実施の評価結果を平成26年度に公表							
重 視 す る 指 標	公表年度、方法							
改 革 の ポ イ ン ト (効 果)	効率的な公表方法の構築を行う。							

取り組み内容(PLAN)			
公表範囲の検討 公表方法の選択			
実施状況・効果・評価(DO・CHECK)			
実施状況	今年度は実施事項なし		
効果	-		
効果額	**,***千円		
算出根拠 (式等)	-		
課題と今後の 対策	-		
内部評価 (担当課)	スケジュールの進捗 度	-	%
	指標に対する達成度	-	%
	総合評価(内部) ABCDE		
外部評価 (推進委員)	取り組み内容(PLAN)について、どのようなものを目標としているか分かりにくい。短期間では効果を実感できないものであるが、目標設定を明確にして取り組むことを期待する。		
内部評価・外部評価を受けた見直し・改善(ACTION)			
行政評価の実施結果を公表するということは、行政の内部だけで行われてきた事業の効果や予算を公表することになる。短期間で実施して成果を示すことは困難であるのは外部評価のご指摘の通りであるが、評価の公表は、住民に行政の透明性と評価制度の公正性を示すことを目的として進めて行く。			

取り組み内容(PLAN)			
平成 23 年度	評価結果について、10月頃に内部会議にて公表を行う。		